

⑤ まちなかの活性化【案】

総務常任委員会
平成28年10月24日
総務部総務課

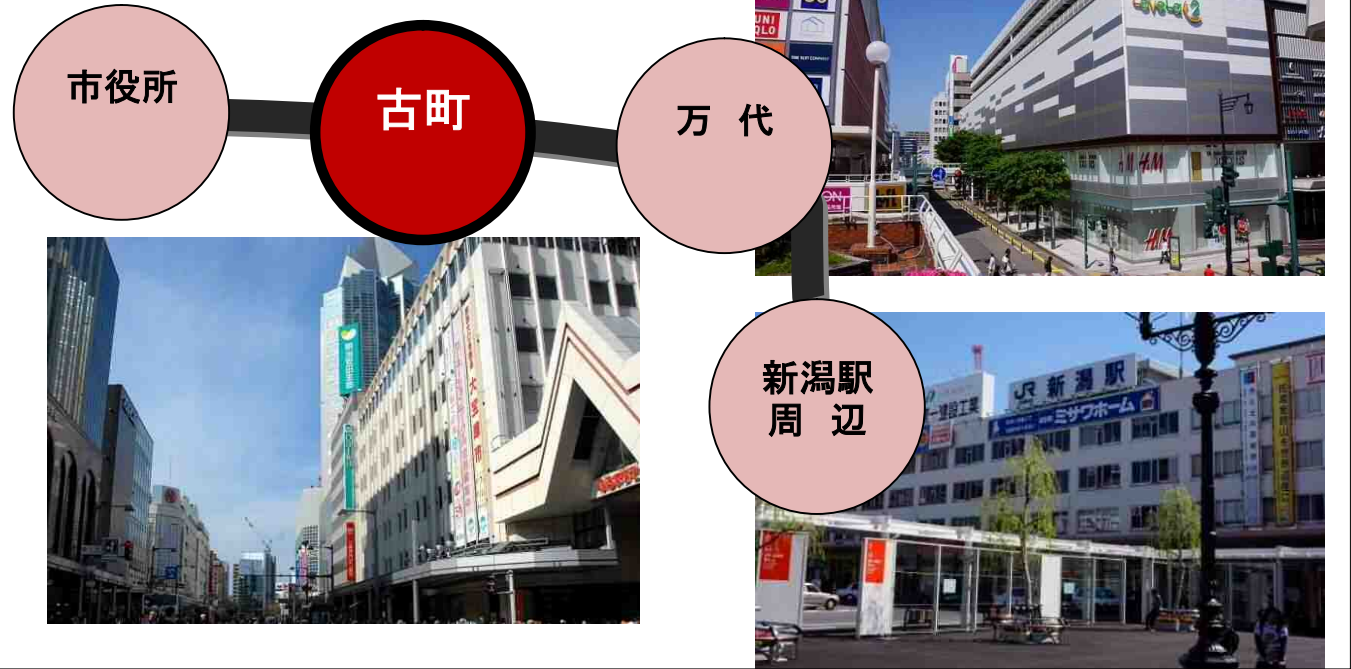
資料1-4

古町地区

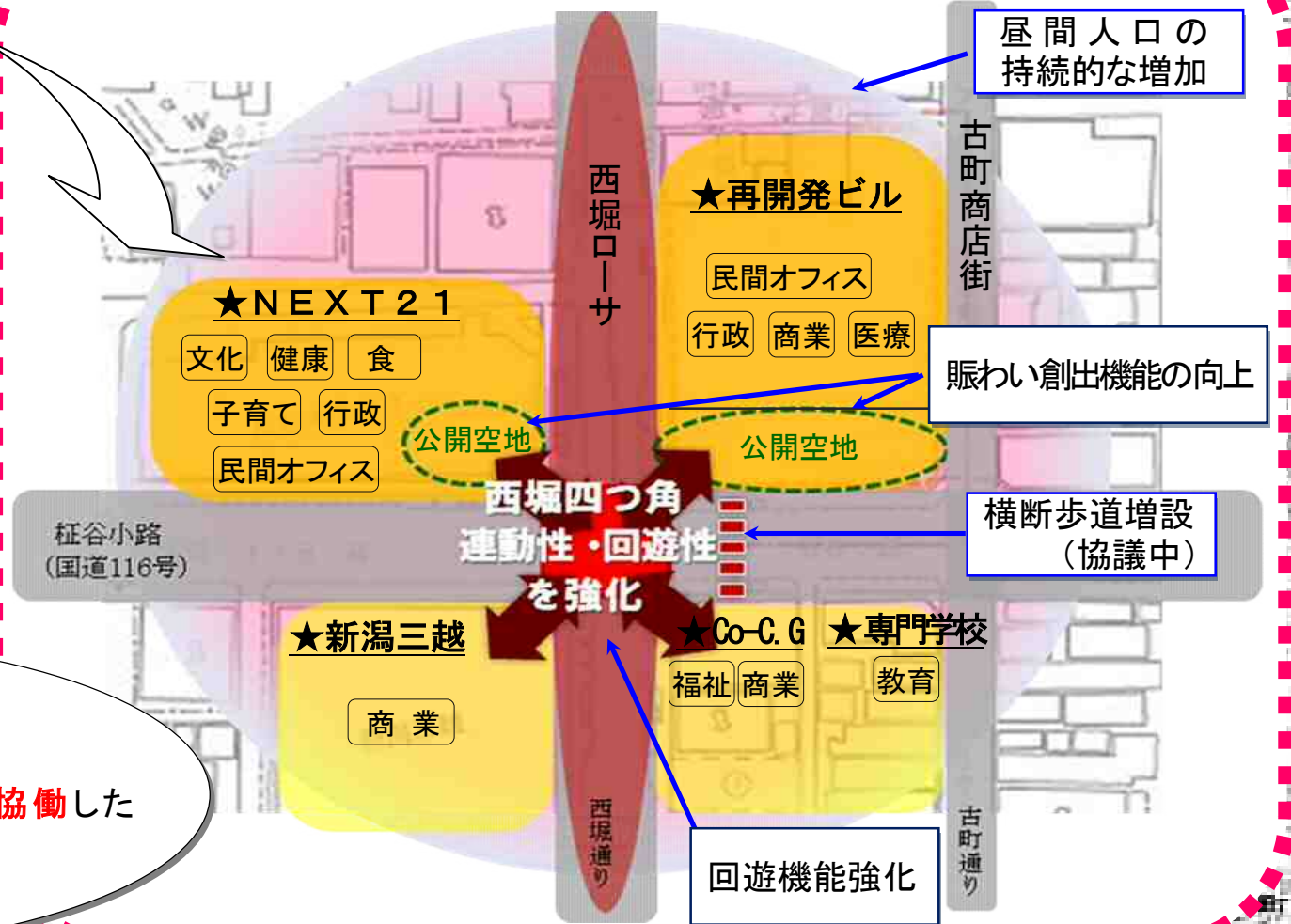
- みなとまち新潟、政令市新潟の「顔」として、**歴史・文化**を支えてきた
- 経済成長期に郊外へ**都市機能が移転・拡散**し、**活力が低下**
- 榎谷小路と西堀通りが交差する**四つ角**は、新潟市随一の繁華街「古町」を牽引してきた**象徴的な場所**

古町地区全体に**賑わい効果**を波及する**ポテンシャル**を有する

都心軸



榎谷小路×西堀通り交差点(西堀四つ角)周辺機能



【昼間人口の持続的な増加】

行政機能の移転により、**確実かつ持続的な人の流れ**を新たに生み出す
⇒ 職員:約1,200人、来庁者:約1,800人/日、再開発ビル 他入居者等: +α

「古町」活性化へ

— 持続的な賑わいの創出 —

【西堀四つ角周辺の連動性・回遊性を強化】

再開発事業に加え、榎谷小路に**横断歩道を増設**(※)し口型に改良

※新潟国道事務所及び県警・新潟中央警察署と協議中

【市民力との連携強化】

地元経済界、商店街等との**連携・協働**した取り組みを強化

約 3,000 人/日+α